

株主通信vol.2

2017年3月期第2四半期

CLICK REPORT 2017

2016.4.1 ▶ 2016.9.30

GMOクリックHD
ホールディングス

証券コード：7177



「強いものをより強く」 持続的成長に向けた 戦略を遂行

代表執行役社長

鬼頭 弘泰

相場環境に左右されにくい収益構造、 事業基盤の構築へ

当第2四半期累計期間は、総じて厳しいマーケット環境となり、営業収益は減収、営業利益、経常利益は減益となりました。最終利益については、連結納税の適用により増益で着地しました。

当社グループは、厳しい環境下においても、安定した収益と利益を確保し、持続的な成長を図っていくため、「強いものをより強くする」を方針とした事業基盤の強化を進めています。

国内事業においては、収益の柱である店頭FXの取引高シェアを高め、圧倒的No.1を目指すとともに、最新のテクノロジーの活用などにより、収益性をさらに向上させていきます。新たな収益の柱としてCFDの育成にも注力しており、収益源の多様化、収益基盤の拡大を図っています。

また、この10月には、株式を強化するために「貸株サービス」とmaneoグループ様との資本業務提携による貸付型クラウドファンディングサービス「maneo」をリリースしました。今後もお客様の多様なニーズにお応えし、より利便性の高い金融サービスを提供することで、預り資産、取引の増加を図っていきます。

新たな事業としては、ASEANで売買代金が首位のタイ王国に子会社を設立し、ネット証券事業を展開することを決定しました。今後の海外事業の成長にご期待ください。

引き続き株主の皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

▼第2四半期決算のポイント

店頭FX収益、金融収益の減少により減収も最終増益

当第2四半期

営業収益

13,844 百万円
(前年同期比△10.8%)

営業利益

5,403 百万円
(前年同期比△7.0%)

経常利益

5,360 百万円
(前年同期比△7.7%)

親会社株主に帰属する四半期純利益

3,714 百万円
(前年同期比+7.9%)

当第2四半期業績レビュー

当第2四半期累計期間においては、2016年6月の英国EU離脱(Brexit)が追い風となって店頭FX収益が伸長したものの、7月以降は店頭FXのカバーコストが増加し同収益が減少、4～9月のトレーディング損益は106.5億円(前年同期比8.2%減)となりました。また、国内株式相場の低迷により個人投資家の売買が低調となり、株式信用取引における平均建玉残高・売買代金が減少したことを受けて金融収益は14.3億円(同26.7%減)、受入手数料については、株式取引、先物・オプション取引等による手数料収入が減少し17.3億円(同11.0%減)となりました。この結果、営業収益は138.4億円と前年同期と比べ10.8%の減収となりました。

トレーディング損益

■1Q ■2Q
(億円)



金融収益

■1Q ■2Q
(億円)



受入手数料

■1Q ■2Q
(億円)



利益面においては、営業利益が前年同期比7.0%減、経常利益が同7.7%減の減益となったものの、最終利益は、連結納税の適用により同7.9%増の37.1億円となりました。

お客様から選ばれるネット証券を目指して

中長期目標のひとつである主要ネット証券における株式売買代金第3位の実現に向けて、GMOクリック証券では商品ラインアップを強化しています。その取り組みとして、2016年10月17日に「貸株サービス」、10月24日からは貸付型クラウドファンディングサービス「maneo」の提供を開始しました。

貸株サービス概要



株式を証券会社に貸し出すことで、貸株金利をお受け取りいただける「貸株サービス」は、保有株式を有効活用できるサービスとして注目を集め、利用申込開始から10日間で2,807口座の申し込みがあり、好調な滑り出しとなりました。貸株残高も順調な伸びを見せています。



また、「maneo」は、取引開始までに1,332口座と想定以上の口座開設があり、ミドルリスク・ミドルリターンの投資商品・サービスに対するお客様からの期待を感じさせるスタートとなりました。

タイ王国におけるネット証券事業の展開について

当社グループは、持続的成長を図るための将来への投資として、海外での事業展開を進めています。その一環として、株式売買代金がASEANでトップの証券市場を有し、金融サービスの需要拡大が見込まれるタイ王国でネット証券事業を展開すべく、現地での子会社設立を決定しました。年内の会社設立、来年9月の事業開始を予定しています。GMOインターネットグループのグローバルブランド「Z.com」を活用し、成長を図ります。



株主還元方針と配当の状況

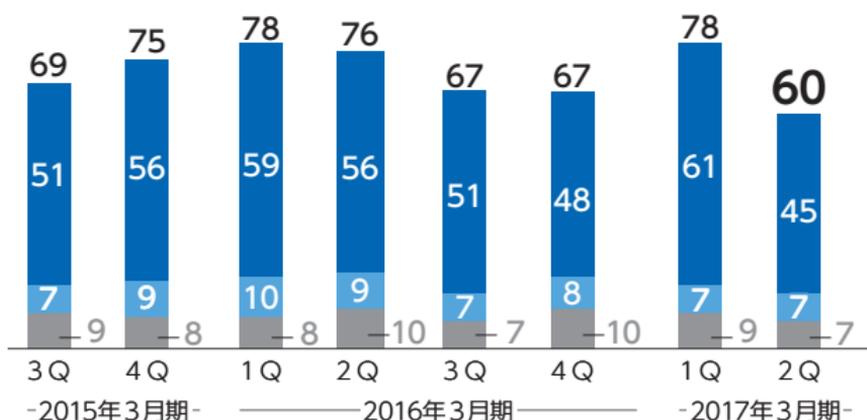
当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、**親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%を目途に、四半期ごとに配当することを目標**としております。2017年3月期第2四半期末配当につきましては、上記方針に基づき1株当たり6.15円といたしました。

(単位:円)	1Q	2Q	3Q	4Q
2016年3月期	6.38	5.60	5.34	5.00
2017年3月期	9.70	6.15	—	—

四半期業績の推移

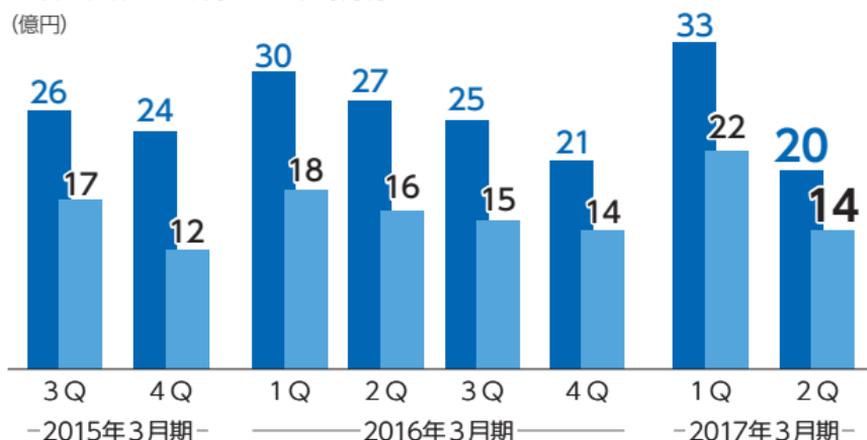
営業収益

- トレーディング損益(店頭FX、CFD、外為オプション等)
 - 金融収益(信用取引等)
 - 受入手数料(株式、先物・オプション、取引所FX等)
- (億円)



営業利益／親会社株主に帰属する四半期純利益

- 営業利益
 - 親会社株主に帰属する四半期純利益
- (億円)



ホームページのご案内



<https://www.gmo-click.com/>

月次開示情報や決算説明資料、各種開示資料等、タイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。

会社情報

(2016年9月30日現在)

会社概要

- 商 号 GMOクリックホールディングス株式会社
(GMO CLICK Holdings, Inc.)
- 本店所在地 〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町20-1 渋谷インフォスタワー
- 代 表 者 代表執行役会長 高島 秀行
代表執行役社長 鬼頭 弘泰
- 事 業 内 容 金融商品取引業等を行うグループ会社の経営管理
ならびにこれに附帯する業務
- 設 立 2012年1月4日
- 資 本 金 403百万円
- 従 業 員 数 240名(連結)

株主メモ

- 上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQスタンダード
- 証 券 コード 7177 上 場 日 2015年4月1日
- 事 業 年 度 4月1日~翌年3月31日 定時株主総会 毎年6月
- 定時株主総会基準日 3月31日 1単元の株式数 100株
- 剰余金の配当基準日 3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11
TEL:0120-232-711(東京)/0120-094-777(大阪)
受付時間:土・日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00
- 各種事務手続き 株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>
なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。
- 公告の方法 電子公告 公告URL:<https://www.gmo-click.com/>
※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。